

Governor's Monthly Letter

ガバナー月信

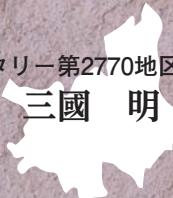


2011-’12年度
国際ロータリー第2770地区



2012.4
第10号

国際ロータリー第2770地区 〒330-0063 さいたま市浦和区高砂1-2-1-116
ガバナー 三國 明 エイペックスタワー東館1階
TEL : 048-827-0022 FAX : 048-827-0011
E-mail : ri2770-184@plum.plala.or.jp



■春日部市 牛島の藤

推定樹齢1,200年を超える、根元の総周囲は9m以上、藤棚は東西34m、南北17mにも達し、昭和30年代には花房が2.7mまでに垂れ下がり、国の特別天然記念物に指定されています。伝説によると、弘法大師のお手植えとも、4月下旬から開花し、藤色のカーテンを見事に演出します。また、詩人三好達治は「牛島古藤花」という詩を詠んでいます。



雑誌月間によせて

2011-2012年度ガバナー 三國 明

今日はロータリー雑誌月間です。各ロータリークラブにおかれましてはロータリーの友を初めとする、ロータリーの公式雑誌についてクラブフォーラムなどを開いて、友誌の活用方法やその持つ役割について討論をしてください。

ロータリー雑誌は世界や日本におけるロータリーの現状やロータリー活動について、日本全国のロータリアンが情報や思いを共有できるようとする目的で発行されています。ロータリーの公式雑誌は、そもそも1911年、初代事務総長、ロータリー組織のオーガナイザー、チェスリー・ペリーによって創刊された「THE ROTARIAN」に始まります。その後ロータリークラブが世界中に広がっていく過程で、25の言語で、地域雑誌30の発刊に拡大しております。

日本のロータリーの友誌はロータリアンに次ぐ発行部数で10万部ぐらいです。ご承知のようにロータリーの友の購読はロータリアンの義務です。必須条件です。これらの地域雑誌とTHE ROTARIANとを合わせて、ロータリー・ワールド・マガジン・プレス (Rotary World Magazine Press) と言います。

日本のロータリーの友ができることになったいきさつについて触れてみます。1952年、国際ロータリー第60地区大会が開催され次年度から日本が関東と関西の二つの地区に分離することが決まりました。今まで一緒の仲間意識で活動してきたロータリアンの感慨一入だったことでしょう。うれしさ半分、寂しさ半分です。そこで二つに分割されても連絡を密に取り合い共通の情報と志を持てる手段として機関紙、ロータリーの友誌発刊の企画がスタートしました。1953年1月号から発行されました。初めは全部横書きでし

た。表紙は富士山の浮世絵で北斎の「凱風快晴」でした、6ヶ月は同じものを使用、毎月変わることはませんでした。その次の半年は広重の「舞子の濱」というこれまた浮世絵でした。

ところで月日の経過とともに、日本独自の文化活動の記事も入るようになり、たとえば和歌とか俳句なども掲載されて来、地域固有の社会奉仕活動報告などの記事もふえて、1972年から縦書きのページを設けようになりました。それまでは、横書き、縦書き混在の時期がありました。

地域雑誌の紙面構成について約束事が2、3あります。まず、いかなる地域雑誌においても、横書きの部分に、RI指定記事を入れなければなりません。THE ROTARIANの内容と運動もしくはそれを反映させなければなりません。RIの理事会や会長の方針を正しく伝えるためです。財団プログラムの周知徹底、ポリオ撲滅や未来の夢計画などは現段階においては、最重要課題です。

大型の奉仕プロジェクトの紹介は、「ロータリー・アット・ワーク」に載っています。その次の約束事は毎年7月号の表紙はRI会長の写真で飾ることになっています。

最後にお願いが2つあります。1つはロータリーの友を単に読む雑誌でなく皆さんのが自ら参加、投稿する雑誌にしてください。

もう一つは、昨今叫ばれているロータリーイメージやブランド推進のためにこの素晴らしい雑誌をロータリーファミリーや公共機関のホールやロータリアン各自の事業所の待合室にも届けてください。そしてロータリーについて質問された時は胸を張って1分間で熱くロータリーを語ってあげてください。

2012-13田中年度『地区チーム研修』開催される

次年度地区幹事 小林 玖仁男

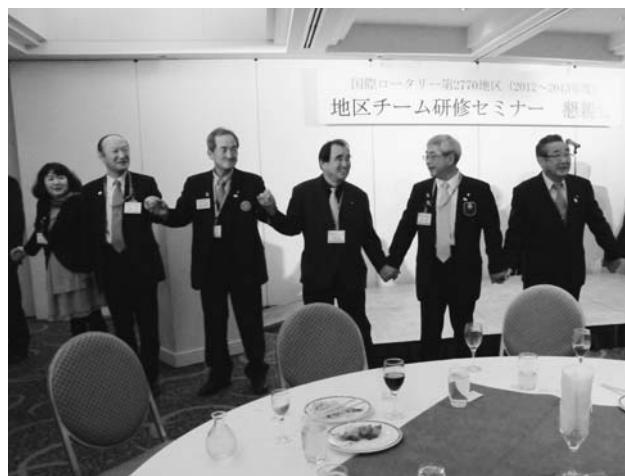
2012年2月28日（火）埼玉会館にて「地区チーム研修セミナー」が開かれた。登録は167名。来年度の2770地区を担う新しい顔が一堂に集った。埼玉会館が出来て40年以上が経つが、このホールは、いったいどれだけの年度の巣立ちを見送っていただろうか。

本会議は三國ガバナーの挨拶から。三國年度に『新風を受けて』田中年度がはじまるわけだ。続いて次年度研修リーダー・牧内パストガバナーの講演。牧内研修リーダーは、ロータリー歴47年という大ベテラン。昔の良さをもっと今に活かすための温故知新。貴重なお話を伺った。そして最後は、田中ガバナーエレクトの『次年度RIテーマと地区方針』へ。田中作次RI会長の『奉仕を通じて平和を』。田中節尚ガバナーエレクトの『DISCOVER THE ROTARY ロータリーで素晴らしい出会いを』を軸に方針が発表された。

また、地区の運営方針は『簡素にして大胆』。事業は大胆に大きくやるけれど、運営は簡素に無駄を省いて行おうというもの。当日の運営の舞台裏を少し紹介すると、配ったペットボトルは、35円の安いものを探し、壇上に飾った花は、以前に頂き、ガバナー事務所にあったフェイクの胡蝶蘭。地区はお金がたくさんあると思われがちだけれど、常に絞るものは絞りながら毎年運営に当たっている。

本会議、部門別研修とコマをすすめ、夕方からは浦和ワシントンホテルでの懇親会を。この時に、部門の諮問（担当パストガバナー）からスピーチをいただいたのだが、ウイットに富んだ軽妙な話に会場は大爆笑のウズに。「こんなに笑った地区的懇親会は初めて」という声をいただいた。

活動は楽しい方が良い。笑いある次年度になるように、ご一緒に頑張らせていただきたい。



消防車継続寄贈事業 お先に行つきました・タイ王国へ (RI バンコク大会前に)

国際奉仕委員長 松島 修平 (草加中央RC)

ロータリアン・家族23名にて、タイ王国ウボンラチャタニ空港へ到着。周りは漆喰の暗闇、タイ時間午後8時半であります。我々の友好クラブであるウボンロータリークラブの面々が出迎えてくれ、早々に空港からウェルカムパーティー会場へ直行、出迎えのメンバーに加えた多くの会員に大歓迎を受けました、夜が更けるまで暫しの友好を深めました。

翌日、早朝6時に起床、7時にホテルを出発し、向かった先は消防車の贈呈式を行うケーラマー市でした。ここはウボン市より200Km、車でとばすことなんと2時間、訪問者全員が車にしがみつきながら到着しました。市役所の隣の講堂で、500名からの市民が出迎えてくれました。

消防車は草加中央ロータリークラブから、ウボンロータリークラブへ、そしてウボンラチャタニ県から、県内の各分署の行政区であるケーラマー市へ贈呈されることになりました。

消防車は船積し、バンコク港へ、そして陸路800Kmを走り、ケーラマー市へ到着。船積運搬以外は両クラブのメンバーが手作業で行っており、タイ王国ウボンラチャタニ県で役に立つのもロータリアンでこそ成せる技であります。

贈呈式ではケーラマー市長が「市民一堂感謝をし、これで消防活動がより促進されます」と挨拶。

ケーラマー市には2台（贈呈車）しかポンプ式消防車がないのです。加州正博会長は「消防車がウボンラチャタニ県民を火災から命や財産を守つていけるよう、今後ともこの事業を続けていきたいと考えております」と挨拶しました。

贈呈式終了後、本場東北タイ料理に舌鼓を打ち、参加したロータリアン・家族共に国際理解・親善を深めることができました。



消防車贈呈



消防車贈呈式典記念撮影



贈呈消防車前で記念撮影

国際奉仕プロジェクト

国際奉仕委員長 本橋 日出夫 (川口モーニングRC)

インターナショナルスポンサー
国際ロータリー第2770地区
草加中央ロータリークラブ
川口モーニングロータリークラブ



ホストスポンサー
国際ロータリー第3340地区
ウボンロータリークラブ
ムンワーリンロータリークラブ



2008年7月、国際奉仕プロジェクトを締結し、草加中央、川口モーニング、ウボン、ムンワーリンの4クラブにより、小学校への識字率向上プロジェクトを、毎年継続しています。

今年はタイを大洪水が襲い、ウボンラチャタニ県もムーン川が氾濫し、数ヶ月に渡り、水没した状態での生活が強いられた市民もいました。その中でも特に被害が激しかったムーン川沿いの小学校修復費用として、草加中央ロータリークラブ、川口モーニングロータリークラブが合同で支援金を拠出し、クワサワンスクールの修復を行いました。この小学校では2階の手摺りまで水没し、大変な復旧活動でした。

また、バンドウニガンスクールに身体成用器具を寄贈しました。子供たちの目の輝きは素晴らしい、特に「上を向いて歩こう」の日本語による合唱は、全ロータリアンが感動しました。

クワサワンスクール



水害修復工事費贈呈式



水害修復工事後の教室内

バンドウニガンスクール



子どもたちと共に

IM報告 第12グループ報告

テーマ「アフリカの角支援・100万ドルのIM」

第12グループガバナー補佐 川島 健

12グループのIMを2月10日（金）川口リリアにて三國ガバナー、田中エレクト、同僚ガバナー補佐、そして11-12グループの先輩ガバナー補佐に御臨席を賜り又、米山・青少年交換留学生を招待して「アフリカの難民救済」を目的に「アフリカの角支援100万ドルのIM」をテーマとして行いました。

第1部 式典=前年度蕨RCの遊馬補佐への感謝状贈呈と次年度戸田西RCの溝上補佐の紹介。

財団ポリオ撲滅への寄付=10万円

財団アフリカの角支援基金への寄付=20万円

国連UNHCR協会への寄付=10万円

第2部 基調講演 元UNHCR職員の根本かおる様によるソマリア支援の現状、問題点等の講演

第3部 クラブ活動報告 各クラブ会長による活動報告

第4部 懇親会 会員によるチャリティーカラオケと料理の量を減らす等経費を圧縮しての100万ドルの価値がある寄付金を捻出しました。



14時30分～20時と5時間30分の長丁場でしたが、参加いただいた会員の皆様そして、朝10時から準備に入った実行委員の皆様に感謝申し上げます。

現在のアフリカには私達の常識ではとても考えられない悲劇が日常として大規模に起きています。この事実を皆様にお知らせする為のIMです。自主財源を持ち、自分の活動を自主決定出来る世界的人道団体としてのロータリーのこれからの大変なテーマです。当IMを1つの契機として皆様の心の中に愛の炎が燈る事を願ってやみません。



八潮みらいロータリークラブ設立 !!

3月1日（木）に八潮みらいロータリークラブの創立記念例会が鶴見裕地区幹事、そして全26会員が出席のもと開催されました。そのご報告を兼ねて加藤修初代会長のご挨拶の一部を紹介させていただきます。

本日は第2770地区鶴見裕地区幹事そして全会員が出席して八潮みらいロータリークラブの第1設立例会を迎えることが出来大変うれしく思います。

今回の新クラブ設立に関しては以前より合併の話が何度もありました。昨年7月より合併に向けて実行委員会を発足させ、話し合いを重ね、多くの課題などを処理してまいりました。旧八潮中央RC、旧八潮シティRCそして元草加21RCの3クラブでの合併予定で話し合いを進めてまいりましたが、元草加21RCで難しい問題もあり残念ながら2クラブでも合併で合意いたしました。しかし、新クラブ設立とともに数名の元会員の方々に再入会していただきました。私は3クラブの合併であると認識しております。今後多くの難問に直面すると思いますが、同じ目標に向かって、相互理解、相互信頼を深め、有意義な奉仕活動と魅力のある楽しいクラブ作りに注力し会員全員参加を基本とした新しいクラブ運営を心掛けていきたいと思います。今年度の三國明ガバナーのテーマ『ロータリーに新風を』の通り今一度、基本に立ち返り会員皆が自分自身を見つめ直してロータリー活動に挑戦しようではありませんか！



**Vocational Training Team
VTTインド第3000地区研修 2012.2.1~11**

RI. Dist. 2770 ロータリー財団部門
職業研修チーム小委員会 委員長 真野多加史

INDIA

New Delhi

タミル・ナードゥ州
Tamil Nadu

スリランカ
SRI LANKA

01 Feb
Chennai

02 Feb
Dalmiyapuram

03-05 Feb
Trichy

06 Feb
Pudukottai

07 Feb
Madurai

08 Feb
Kodaikanal

09 Feb
Karur

01 Feb
New Delhi



● ● 会員増強維持委員会 ● ●

国際ロータリー2011~2014年度試験的プログラムについて

池永 幸生（八潮イブニングRC）

国際ロータリーは、2011年1月から新しい試験的プログラムについて、地区ガバナーとガバナーエレクトに通知すると共に、試験的プログラムに関する情報についてクラブに送付しました。この試験的プログラムには、準会員試験的プログラム・法人会員試験的プログラム・革新性と柔軟性のあるロータリー・クラブ試験的プログラム・衛星クラブ試験的プログラムの4種類があります。

この試験的プログラムの目的について国際ロータリーでは、ロータリーで行われたアンケートとフォーカスグループ（座談会）を通じて、会員候補者と若年層の現会員より、ロータリー・クラブ会員資格の柔軟性を求める声が頻繁にあがっています。この試験的プログラムは、ロータリー会員資格に関する別の方法や選択肢と、それらが会員動向とクラブの全体的な力に与える影響について調査します。又期待される効果として、準会員及び法人会員という会員種類を設けることによって、地域で会員資格を有する多様な職業人を引き付け、会員として維持していくクラブの力は向上します。また、準会員は、クラブと会員、プログラムやプロジェクトについての知識を深め、その結果として会員の勧誘と維持の傾向に好ましい影響を与え、地域におけるクラブの全体的な活動能力を向上させる一助となります。法人会員は、柔軟性を備えており、今日の企業環境における人事の流動性が加味されています。革新性と柔軟性のあるロータリー・クラブは、「楽しい」「ダイナミック」「快活」「寛容」「新しいことに挑戦する」「積極的」「会員主導」「結果重視」「意欲を刺激す

る」「人ととのつながりを広げる」といった言葉で形容されます。さらに、革新性と柔軟性のあるロータリー・クラブは、クラブ会員を増強し、更に多くの人道的奉仕を行い、人々がクラブに対して抱く公共イメージと認識を向上させるものです。衛星クラブは、週のあいだに異なる場所、曜日、時間を設定して、複数回の例会を行うことによって、「地元とその周辺地域の様々な業種の人々にアピールする」「会員資格を満たすさまざまな職業に属する人々のクラブへの関心を高め、維持する」「クラブ運営の全体的な効果と成果を高める」「会員が指導的役割を担う機会を増やす」などによりクラブの力が高まりますとしています。

この試験的プログラムに参加しているクラブは、準会員試験的プログラムにおいては、世界で200クラブ、その内日本からは5クラブです。その内の1クラブは第2770地区から選ばれています。法人会員試験的プログラムと革新性と柔軟性のあるロータリー・クラブ試験的プログラムは、各世界で200クラブ、その内日本からは各2クラブ、衛星クラブ試験的プログラムは、世界で123クラブ、その内日本からは1クラブとなっています。

国際ロータリーは勿論、地区並びに各クラブにおきましても、今会員増強は最も重要な課題の一つです。この課題を克服するためにも、3年間の試験的プログラムの成果により、ロータリー・クラブ会員資格の柔軟性が、国際ロータリーに認められ実現されることに期待したいと思います。

三春町の富岡小中学校 4 校と 南相馬市の双葉幼稚園に義援金寄贈

東日本大震災復興支援チーム委員長 隅内道三

3月6日(火)、三國ガバナーを筆頭に当地区の震災復興支援チーム関係者10名は、福島県三春町に仮校舎を設置して授業を再開している富岡町立第1小学校、第2小学校、第1中学校、第2中学校を訪問しました。4校は曙ブレーキの旧工場を跡を借り受け、約120名の小中学生が不自由な仮校舎での授業を受けています。震災前の4校には約1500名弱の生徒が在籍していましたが、大震災と原発事故により家族と共に全国各地に避難したため、震災前の十分の一の生徒数で授業が再開されました。教室は工場事務室を簡易な間仕切りで造作されました。教材用具類はむろんのこと、体育館もなく運動用具も不足する不自由な環境の中で、生徒は懸命に勉強を続けていました。

震災復興支援チームは、故郷から半ば強制的に避難させられた富岡町の当該4校の教育支援を目的に、皆様からの貴重な義援金を寄贈致しました。

震災復興支援チームはその足で南相馬市に出向きました。この地で60年以上の歴史を有する「学校法人青葉」(青葉幼稚園)を訪問し、支援金を寄贈致しました。青葉幼稚園では震災前は230名以上の園児を抱える地域の中核的施設でしたが、地震と津波と原発事故によりやむなく一時閉鎖に至りました。その後地元の強い要望もあり、昨年10月ボランティアの支援を受けて施設の除洗を施し、園児23名を受け入れる形で再開しました。現在は54名の園児が元気に通園しています。青葉幼稚園ではこの間一人のスタッフも解雇せず、

徐々に戻ってくるはずの園児のために懸命に施設を維持し運営を続けてきました。私たちは「青葉」の園児達の元気な出迎えを受けましたが、無邪気な子供たちの笑顔と歌声に包まれた時には胸が熱くなるとともに、大人として私たちはこの子供達の未来に責任を持たなければないことを、強く実感させられる訪問となりました。



埼玉新聞 3/12付（12面）に掲載

東日本大震災復興支援 「映像の街川口支援隊」

川口RC会長 佐野 良雄

3.11の東日本大震災から1年が過ぎましたが、行政、民間含め復旧、復興に対する取り組みがこの一年間なされて来ましたが、川口ロータリークラブでも昨年7月22日、当時被災者の精神的なケアが求められているということを聞き、大きな被害のあった石巻市へ川口市のSKIPシティにある、映像機器を持って映像支援に行きました。

まず、石巻RC、石巻東RC、石巻南RC、石巻西RCの方々と当クラブ有志8名で、石巻4クラブの仮合同事務局にて懇談会を行いました。

3月11日の大震災後の現状を赤裸々に話していただき、改めて津波の恐ろしさを思い知らされました。10日間も電気、ガス、水道、電話も無しで誰とも連絡が取れず、ラジオの情報のみで、10日後にやっとテレビが見られて初めて悲

惨な実情を知ったという話が印象に残りました。

その後、会員の方の案内で石巻市内の高台から市内を見て、瓦礫の山と流された家や工場、陸上に上がった船などを見て、ただただ被害の大きさを実感するとともに、今後の復旧、復興作業が一日も早く対応される事を望む心で一杯でした。

夕方からは川口JCのOB有志6名と一緒に大型トラックの荷台にスクリーンを張り、22日(金)石巻市立門脇中学校の校庭で「ALWAYS 3丁目の夕日」を、23日(土)石巻市立山下中学校の校庭で「男はつらいよ 寅次郎ハイビスカスの花」を、24日(日)石巻市立大街道小学校の体育館で「ドラえもんのび太の恐竜2006」を上映し、避難所の皆さん方に厳しい避難生活の中で一時の安らぎを感じて頂きました。



先輩より



クラブ活性化の鍵ーそれはあなたが「真のロータリアンになること」ですー

岩渕 均 (浦和RC、2008-09年度ガバナー)

「例会」のみならず、全ての会合と事業が「人生道場」のひとつです。「道場」に通わなければ強くなれません。

- ロータリー情報を勉強すること：何事も最低限の知識・情報は必要です。田中毅著「ロータリー歴史探訪」、ポールP.ハリス著「ロータリーの理想と友愛 (This Rotarian Age)」、ポールP.ハリス著「ロータリーの創設者 (The Founder of Rotary)」、等々。浦和RC発行の「これだけは知っておきたいロータリーの基礎知識」もお勧めです。
- RLI (ロータリーリーダーシップ研究会)に参加すること：「ロータリー情報」を収集する一つの方法ですが。他の人と議論を交わしながら知識を深めることができます。誰でも参加資格がありますので手を挙げるかどうかはあなた次第です。
- ロータリーの友への投稿：「読まれざるベストセラー」と思っている人は投稿しましょう。「友」が身近になります。
- 寄付すること：財団と米山の寄付に参加しましょう。プログラムや奨学生に関心を持ちます。PHF、MPHF、メジャードナー、冠名基金、米山功労者、大口寄付者など目標を立てて寄付をすることです。

* * *

以上、真のロータリアンになるための方策をいくつかを記述しました。真のロータリアンが増えればクラブの活性化は間違いありません。

クラブの活性化。その鍵はあなた自身が握っているのです。

後輩より



平成23年10月27日入会／第4グループ

『クラブの活性化について思うこと』

出山 知宏 (岩槻RC)

きく放出されるような気がします。

しかし場面によっては、担当される方、リーダー格の方、またそうでない方の温度差が生じてくるのも現実かと思われます。

具体的な場面でお話しすると、プロジェクトの立上げ、遂行、イベントの運営、会員増強等にいたっては、特に生じるものではないかと感じます。

この温度差は、活性化を起こすエネルギー放出の大きな妨げとなります。

クラブ内での温度差を無くし、その年度を先導する会長の考え、プロジェクトリーダーの想いを共感し、循環させる事が大切と私は考えます。

われ、目標に掲げられております。

そして活性化を起こすには、どの分野においても活性材となるエネルギーが必要不可欠です。

会員の皆様におかれましては、それぞれが多大なエネルギーを持ち、奉仕の理想を胸に、日々、ロータリー活動に励まれていることだと思います。

しかしこのエネルギーは常に放出されているわけではなく、何かを始める時や事を成す時に、大

ロータリー財団	大口寄付 19,010 \$	大口寄付 15,074 \$	大口寄付 11,100 \$	M·P·H·F(6)	M·P·H·F(5)	M·P·H·F(4)
田村亮夫 (川口モーニング) 平成24年3月13日	石野榮一 (越谷南) 平成24年2月27日	遠藤省吾 (大宮) 平成24年1月30日	高橋明賢 (川口モーニング) 平成24年2月28日	小谷野堅太郎 (浦和中) 平成23年12月26日	斎藤勝 (八潮) 平成24年2月24日	
井上亮 (幸手中央) 平成24年2月28日	小島昇 (浦和中) 平成23年12月26日	橋本和久 (大宮) 平成24年1月30日	金子孝司 (川口モーニング) 平成24年2月10日	森田武行 (川口モーニング) 平成24年2月10日	山野光雄 (川口モーニング) 平成24年2月10日	沼田勲 (浦和中) 平成23年12月26日
木村萬司 (戸田西) 平成24年1月30日	榎本正敏 (川口モーニング) 平成24年2月10日	田端正和 (さいたま新都心) 平成24年2月23日	辻村浩司 (浦和中) 平成23年12月26日	海老原秀典 (春日部南) 平成23年12月30日	岡部成一 (戸田西) 平成24年1月30日	鈴木茂伸 (戸田西) 平成24年1月30日
江口満志 (川口モーニング) 平成24年2月10日	関口文雄 (川口モーニング) 平成24年2月10日	西山育昌 (川口モーニング) 平成24年2月10日	井原實 (さいたま新都心) 平成24年2月23日	黒田芳伸 (さいたま新都心) 平成24年2月23日	八木嘉奈枝 (大宮南) 平成24年2月29日	野口厚 (春日部南) 平成23年12月30日
小山重治 (戸田西) 平成24年1月30日	村田実 (戸田西) 平成24年1月30日	草彅博昭 (三郷) 平成24年2月7日	豊田茂雄 (三郷) 平成24年2月7日	加藤文男 (鴻巣水曜) 平成24年2月22日	PARCO SPACE SYSTEMS	小林達郎 (幸手中央) 平成24年2月28日



下津谷 力
(幸手中央)
平成24年 2月28日



無量小路俊宏
(幸手中央)
平成24年 2月28日



小林 忠
(川口北)
平成23年12月21日



大沢 守輝
(大宮南)
平成24年 2月29日



上尾 RC
平成24年 2月16日



山森喬夫
(川口北)
平成23年11月29日



鈴木由也
(越谷北)
平成23年12月 7日



森谷良久
(草加南)
平成24年 2月23日



石塚一男
(越谷南)
平成24年 1月31日



布施雅章
(八潮)
平成24年 2月14日



高橋明賢
(川口モーニング)
平成24年 2月28日



小林政一
(越谷北)
平成23年12月 7日



安井晃
(越谷北)
平成23年12月 7日



山口秀行
(越谷北)
平成23年12月 7日



木村萬司
(戸田西)
平成24年 1月30日



清水裕次
(岩槻東)
平成24年 2月24日



宮本和寿
(岩槻東)
平成24年 2月24日



堀野眞孝
(越谷北)
平成23年12月 7日



溝上西二
(戸田西)
平成24年 1月30日



大熊正行
(越谷北)
平成23年12月 7日



中島正義
(越谷北)
平成23年12月 7日



熊木照男
(戸田西)
平成24年 1月30日



井上亮
(幸手中央)
平成24年 2月28日



小宮山大介
(越谷北)
平成23年12月 7日



佐藤要
(越谷北)
平成23年12月 7日



永田雄治
(越谷北)
平成23年12月 7日



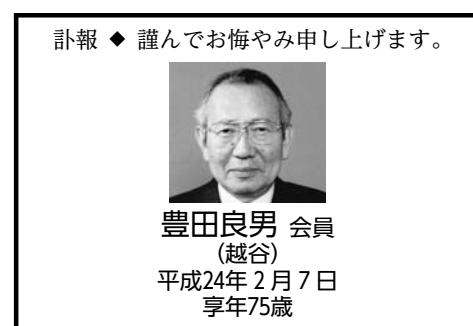
松井昭夫
(越谷北)
平成23年12月 7日



吉澤晴雄
(越谷北)
平成23年12月 7日



**準米山功労法人
PARCO
SPACE SYSTEMS**



グループ	クラブ名	2010年7月1日現在		当月末会員数 内女性	増減 内女性	目標 新会員	通算 新会員	当月		通算 出席率 順位
		出席率	順位					出席率	順位	
第一グループ	浦 和	101	0	99	0	-2	5	1	86.61	21 25
	浦 和 東	78	2	80	2	2	3	4	90.54	11 6
	浦 和 南	29	0	27	0	-2	3	0	94.00	5 2
	浦 和 中	36	2	36	2	0	5	0	94.17	4 10
	浦和ダイヤモンド	20	9	18	8	-2	2	0	88.88	15 4
	第1グループ計	264	13	260	12	-4	18	5	90.84	
第二グループ	浦 和 北	70	3	73	3	3	10	5	93.14	7 5
	さいたま中央	45	1	45	1	0	3	0	85.00	31 42
	浦 和 西	20	3	19	3	-1	4	0	70.83	72 70
	浦 和 北 東	42	1	43	1	1	6	2	79.26	51 54
	さいたま新都心	40	0	41	0	1	4	3	89.51	13 7
	第2グループ計	217	8	221	8	4	27	10	83.55	
第三グループ	大 宮	52	0	53	0	1	10	6	82.65	44 47
	大 宮 南	35	5	35	5	0	5	4	82.85	43 60
	大 宮 中 央	48	0	44	0	-4	5	0	74.24	68 68
	大 宮 南 東	7	2	10	2	3	3	4	78.00	56 67
	大 宮 シ テ イ	62	5	64	5	2	8	2	76.57	65 57
	さいたま 櫻	21	0	22	0	1	3	2	75.00	67 58
第四グループ	第3グループ計	225	12	228	12	3	34	18	78.22	
	大 宮 西	66	0	75	0	9	20	10	84.37	37 40
	岩 樹	29	4	29	4	0	2	1	62.07	79 80
	大 宮 北	22	1	22	1	0	3	0	88.24	16 19
	大 宮 南 西	9	1	7	1	-2	2	0	92.85	8 75
	大 宮 東	36	0	37	0	1	5	3	84.41	36 46
第五グループ	岩 樹 東	29	1	29	1	0	3	0	79.31	50 51
	大 宮 北 東	16	2	15	2	-1	3	0	76.67	64 35
	岩 樹 中 央	14	0	15	0	1	1	1	71.66	71 53
	第4グループ計	221	9	229	9	8	39	15	79.95	
	上 尾	39	1	39	1	0	3	0	83.97	39 28
	鴻 巣	27	0	25	0	-2	3	0	96.00	1 1
第六グループ	桶 川	22	0	22	0	0	2	0	77.23	61 76
	上 尾 西	41	0	40	0	-1	5	1	87.63	17 21
	北 本	8	0	9	0	1	2	1	87.00	20 31
	上 尾 東	19	0	19	0	0	2	0	94.74	3 38
	上 尾 北	27	0	27	0	0	3	0	92.49	9 3
	鴻 巣 水 曜	31	3	31	3	0	3	1	66.97	77 59
第七グループ	桶川イブニング	16	0	16	0	0	2	0	87.50	18 72
	第5グループ計	230	4	228	4	-2	25	3	85.95	
	春 日 部	41	0	42	0	1	5	3	81.53	46 14
	杉 戸	26	1	27	1	1	2	2	85.33	29 45
	春 日 部 西	35	2	33	2	-2	3	2	76.72	63 66
	庄 和	19	0	21	1	2	1	2	92.20	10 13
第八グループ	春 日 部 南	28	4	30	4	2	5	3	68.38	76 74
	春日部イブニング	22	1	22	1	0	3	0	85.00	31 26
	杉 戸 中 央	24	0	23	0	-1	2	1	77.78	58 63
	第6グループ計	195	8	198	9	3	21	13	80.99	

グループ	クラブ名	2010年7月1日現在		当月末会員数 内女性	増減 内女性	目標 新会員	通算 新会員	当月		通算 出席率 順位
		出席率	順位					出席率	順位	
第七グループ	幸 手	41	2	42	2	1	5	3	83.80	40 16
	蓮 田	33	0	37	0	4	6	4	85.81	24 41
	久 喜 菖 蒲	57	4	58	4	1	6	3	85.30	30 48
	栗 橋	12	0	12	0	0	2	0	78.12	55 55
	幸 手 中 央	24	1	25	1	1	3	1	77.00	62 61
	第7グループ計	167	7	174	7	7	22	11	82.01	
第八グループ	越 谷	80	2	80	2	0	5	3	70.11	74 52
	越 谷 南	51	3	52	3	1	5	5	70.36	73 73
	越 谷 北	51	0	52	0	1	5	1	85.35	28 44
	越 谷 東	47	6	48	7	1	2	1	73.23	69 34
	越 谷 中	12	0	16	0	4	2	4	82.36	45 29
	第8グループ計	241	11	248	12	7	19	14	76.28	
第九グループ	草 加	18	2	16	2	-2	5	0	65.60	78 78
	八 潮	47	4	48	4	1	12	1	85.59	26 15
	草 加 南	12	1	12	1	0	2	1	85.41	27 32
	八潮イブニング	24	0	24	0	0	4	0	81.25	47 23
	草加イブニング	11	0	13	0	2	2	3	80.77	48 24
	八 潮 中 央	15	0	15	0	0	3	0	83.33	41 18
第十グループ	草 加 中 央	23	0	23	0	0	2	0	95.65	2 33
	八 潮 シ テ イ	9	0	5	0	-4	2	0	85.71	25 65
	草 加 21	8	3	0	0	-8	3	1	0.00	71
	第9グループ計	167	10	156	7	-11	35	6	73.70	
	吉 川	31	1	33	1	2	5	2	84.69	34 30
	三 郷	30	2	29	2	-1	3	1	75.86	66 36
第十一グループ	三 郷 中 央	17	0	19	0	2	3	2	72.52	70 9
	三郷ウェンズデー	20	2	20	2	0	4	2	77.89	57 43
	松 伏	11	3	13	3	2	4	2	84.00	38 17
	第10グループ計	109	8	114	8	5	19	9	78.99	
	川 口	82	11	86	12	4	5	6	77.33	60 64
	鳩 ケ 谷	25	0	26	0	1	0	1	87.34	19 37
第十二グループ	川 口 東	19	1	18	0	-1	5	0	89.06	14 11
	川口・鳩ヶ谷武南	26	2	27	2	1	2	1	83.26	42 56
	川口モーニング	26	1	22	1	-4	5	0	86.36	22 20
	川 口 南	31	4	30	4	-1	2	1	68.53	75 79
	鳩ヶ谷シティ	14	0	15	0	1	3	1	93.22	6 12
	第11グループ計	223	19	224	19	1	22	10	83.59	
第十三グループ	戸 田	52	5	52	5	0	3	1	77.55	59 62
	蕨	26	1	26	1	0	3	0	79.00	53 50
	川 口 西	27	3	28	3	1	3	1	84.60	35 69
	戸 田 西	29	1	28	1	-1	2	0	90.39	12 22
	川 口 北	33	2	33	2	0	20	0	84.81	33 27
	川 口 北 東	28	4	27	4	-1	5	1	78.41	54 39
第十四グループ	川 口 中 央	13	1	13	1	0	2	0	79.17	52 8
	川口むさし野	19	1	17	1	-2	3	0	79.40	49 77
	戸田イブニング	18	0	19	0	1	3	1	85.84	23 49
	第12グループ計	245	18	243	18	-2	44	4	82.13	
	地 区 合 計	2504	127	2523	125	19	325	118	81.19	

※会員数及び出席状況の報告は翌月の14日までにお願いします